令和４年11月20日執行

稲敷市議会議員一般選挙公報

稲敷市選挙管理委員会

働きます！稲敷の未来のために

伊藤ひとし（いとう）

ひとりでも多くの人が、「住んでいてよかった」と満足できる稲敷にしたい

① 災害に強い安心安全な街づくりに取り組みます。
② 人口減少・過疎対策に取り組みます。
③ 充実した学校教育をめざします。
④ 介護福祉サービスを拡充します。
⑤ 商工業と農業の活性化を図ります。

＊プロフィール
・昭和30年江戸崎町に生まれる
・県立江戸崎高等学校普通科 卒業
・流通経済大学経済学部 卒業
・稲敷市議会　議員5期
・稲敷市議会　元副議長
・稲敷市議会　元議会運営委員長
・稲敷市議会　前議長
・稲敷市商工会副会長
・江戸崎祇園祭保存会会長

農家の声を届けたい！ ― 世代交代期の情勢を踏まえて提言 ―

浅野晴男（76）

① 高まる農家への期待
●昨年5月、「みどりの食料システム戦略」との新政策が提起された。環境負荷のある現在の「食料システム」の改革を求めるものだが、「将来30年間の農業の姿」を示したともいえる。
●ロシアのウクライナ侵攻により「食料自給率の向上」を望む国民の声が高まっている。
●スマート農業の導入が求められるが、過剰投資が心配だ。適正な経営規模や仕組みが不透明だ。

② 農家の課題
●肥料や諸資材の高騰が当面の悩み。利益率が低下し、公的助成なしでは営農が成り立たない。
●今後は規模拡大、法人化が進み、高度な管理が必要。後継者には「経営能力」が求められる。
●しかし、その能力を習得する機会も環境も整っていないのが、稲敷地域の重大な課題だ。

③ 未来への改革
●急に、食料の自給率向上、地産地消が叫ばれ始めたが、この局面は、農家と市民が一体となって地域農業の改革に取り組む必要がある。
●改革の枠組みは今村奈良臣先生の「6次産業化論」が有効。全員参加で地域の潜在力を引き出し、相乗効果で高価値、高利益を生む戦略論だ。
●江戸の昔から稲作で栄えた稲敷。環境の時代を迎え、稲敷らしい「稲作＋α」農業を創ろう。

④ 市民の結束、市政の支援
●農家の意識改革と能力開発が必要。ともに学び、働き、新たな時代を構築しよう。
●市民も地産地消など地元農業を盛り上げよう。
●市政はこれらの支援に万全の態勢で臨むべき。

経歴
・1946年 ― 阿見町の農家の次男として出生。土浦一高、茨大農学部卒。
・1969年 ―（社）家の光協会に就職。主に編集部署で働く。大阪、福岡などの地方勤務を経て、2006年に定年退職。
・2008年 ― 現住所に「帰農」。・2009年 ― 稲敷農協の監事に就任、以後4期（12年間）務める。

稲敷市の“待ったなしの現状”を、行動力と実現力で突破します！

根本こうじ（55才）

待ったなしの稲敷
合併当時（17年前）人口50,000人。現在、38,000人！
17年間でマイナス12,000人、1/4もの人口が減っています。
令和3年度、市内全域で生まれてきた子供の数は120人。
（江戸崎地区49人、新利根地区23人、東地区35人、桜川地区13人）
この状態を放置していると、国からのお金や市の税収等の大幅な減少、高齢者を支える働く世代の割合が減少、社会保障費の増加、働き手の不足、介護者の不足等の問題が生じ地域経済が縮小し、悪循環となります。

約12,000人減少
合併当時（17年前）約50,000人　現在 約38,000人　20年後 20,000人？

市内企業の育成で地域力の強化
市内企業の活力こそが、停滞している地域経済や地域活性化のカギです。そのため、行政事業の市内企業への発注枠拡大、地場産業の活性化と地元雇用の安定化を実現します。

稲敷市だからこその手厚い教育制度
未来を担う子どもたちの元気こそが、人口減少や少子化を乗り越え、活力ある稲敷市づくりにつながります。そのため、故郷“いなしき”での愛ある手厚い教育を実現します！

高齢者の暮らしサポート強化
移動手段や生きがいづくりの強化、電話等での相談窓口の充実、健康寿命づくり、地域コミュニティーの強化を実現します！

市民に寄り添い、理想を語るだけでなく行動で示し、次の世代へすてきな稲敷をわたしたい。

ひとをまもり、まちをまもる

厳しく行政をチェック!!
持続可能な“イナシキ”実現のため、無駄なものは削減、計画的・戦力的投資を推進。市役所の事業をこれまで以上に厳しくチェックしていきます。これからの活動により、市民みんなが夢を見て、笑顔で暮らせるまちづくりを実現します。

NEMOTO KOJI PROFILE
昭和42年6月30日（55才）O型
江戸崎町に生まれる
土浦日本大学高等学校卒
日本大学農獣医学部卒
国際空手道尚武会茨城県本部育心館師範
稲敷市スポーツ少年団常任理事
稲敷市空手道スポーツ少年団会長
稲敷市消防団員
えどさき街創り協同組合理事

防災と福祉の強化で持続可能な街づくり

高野きよし（たかの）

1) 農業・商業の促進
◎ 地域の維持・発展ため
地域資源（人・物・金）の最大活用を図ります。

2) 生活・環境の改善
◎ 成田空港航空機による騒音対策、
空家・空き地の有効利用や
自動運転交通システムの実現に力を入れます。

3) 教育改革の推進
◎ 食育を基本に心と体を育む環境をつくり、
青少年の健全な育成を推進します。

4) 健康・福祉の増進
◎ 健康増進施設の普及や
交通弱者のための医療機関を結ぶ
福祉バスの運行を推進します。

5) 防災に強いまちづくり
◎ 子供たちへの防災教育の推進や
地震、水害等を想定した防災避難訓練の実施。

プロフィール

現職
稲敷市議会議員　6期　元議長
総務教育常任委員
江戸崎地方衛生土木組合議員　議長

趣味
読書、蛍の飼育（25年）
養蜂（日本ミツバチ）
ハチミツを稲敷市の
名産品にしたいと思います。

学歴
東洋大学付属牛久高校卒業
東海大学文学部卒業

資格
防災士
茨城県薬物乱用防止認定講師

議員以外の活動
ＮＰＯ法人日本医療救援機構（MeRu）
国際部副部長 ロジスティックス担当
茨城県災害派遣福祉チーム（いばらきDWAT）
防災士
稲敷市日中友好協会会長　茨城県日中友好協会理事
茨城県地球温暖化防止活動推進
青少年育成稲敷市民会議　副会長
稲敷市航空機騒音対策協議会委員
稲敷市環境審議会会長
竜ヶ崎ききょうライオンズクラブ

ぶれない理念！確かな行動力！

Inashiki city is the best!

岡沢りょういち（47歳）

過疎だからこそできる子育て支援　持続可能な地域づくり

●「少人数」を活かした子育て・教育支援
・空き家を子育て世帯に賃貸する「市営住宅」に。
・病児保育や長時間保育の環境を整備。
・少人数（30人）学級制の推進。
・私立高校生徒への奨学金制度を提案。

●活力と豊かさを維持拡大するための産業振興
・地場産業の後継者育成と起業家支援。
・農産物の販路や広報の拡大。
・交流人口を増やします。
・観光協会の法人化を推進。

●市民生活の不便解消と環境の改善
・タクシーの利用補助の条件拡大。
・害獣（主にイノシシ）対策の充実。
・街灯や防犯カメラの設置を徹底。
・介護負担の相談窓口設置と支援の充実。

●行政区（集落）単位での少子高齢化対策
・行政区（集落）ごとの支援策の制定。
・共同生活が困難になった行政区への人的支援。
・民生委員に準じた地区委員会の構築。
・子ども食堂や自主防災等の市民活動を支援。

～誰もが輝けるまちへ～ 発言と実行！

染谷くにか（そめたに）

子育て・教育
教育の格差を払拭し、デジタル化の波にも平等に乗れる体制を目指します。
公園の整備を推進し、子供たちが安心安全に遊び学べる環境を目指します。

地方創生
適切な地方創生、新しい地方創生を市民の声から提案・コーディネイト、そして実践を目指します。

福祉
孤立しない仲間作りのために、社会活動に参画できるコミュニティを作ります。
介護・看護する側、される側、双方に優しいしくみを市民の声からかたちにします。

女性活躍
女性の活躍・意見を市政へ！
女性の発言の場を増やし、まちづくりに参画しやすい環境を整え、少子化対策、子育て、生活を支援します。

■ TOKYO自民党政経塾 第17期受講中
■ 自民党女性局女性候補育成コース女性局長賞受賞
■ 自民党茨城県連青年局女性部所属

1975年生まれ（旧染谷商店の次女）
新利根村立新利根小学校、中学校卒業
聖徳大学附属聖徳高等学校英語科卒業
東洋学園大学人文学部英米言語学科卒業
元成田空港職員
英会話スクール経営
社）いなしき農村活性化振興協会会長

◀◀◀ 染谷くにか公式ホームページ

生まれ育った稲敷の為に勉強して参りました！
幸せと豊かさを市民へ！

Kunika Sometani

声なき声をひろえる政治を目指して！女性の活躍がまちを元気にします！

投票日 11月20日（日）午前7時から午後7時まで

投票日の当日、仕事や用事などで投票所へ行けない方は、期日前投票ができます。

期日前投票　11月14日（月）から19日（土）まで
午前8時30分から午後8時まで

期日前投票場所　稲敷市役所本庁舎、新利根公民館、桜川公民館、東支所

※この選挙公報は立候補者から提出された原稿をそのまま写真にとり、縮小して印刷したものです。

令和４年11月20日執行

稲敷市議会議員一般選挙公報

稲敷市選挙管理委員会

市民生活第一。あなたの声を市政に活かす！

椎野たかしの政策

椎野たかし（しいの）

地域社会を創出するための６つのスローガン！

①子ども・高齢者・障がい者への福祉充実
②公共交通の充実
③協働から生まれる地域力
④防災対策・緊急医療体制の充実
⑤地域格差の是正
⑥護憲・平和・脱原発

椎野たかしプロフィール
茨城県立江戸崎高校卒業
1966年 郵便局就職、2007年 郵便局退職
元連合茨城稲敷地区協 幹事長、茨城平和擁護県民会議会計監査
JP労組筑波支部退職者の会副会長、県南平和フォーラム事務局長
平成30年（2018年）12月無所属にて稲敷市議会議員初当選

椎野たかし選挙事務所
あなたの声を聞かせてください。
稲敷市椎塚997-1
TEL・FAX 029-869-4399

農業と安心を次の時代へ！

中沢ひとし（なかざわ）（47歳）

中沢ひとしの決意

私は、稲敷市で生まれ育ち、今年で47歳となりました。39歳で、稲敷市議会議員選挙に挑戦し、当選をすることが出来ました。これまで、様々な経・体験をし、また、議会議員として2期8年間を活動させて頂きました。
これからも、大好きな稲敷市のため、市民の皆様の身近な問題解決のため、誠心誠意努力いたします!
皆様には、中沢ひとしの「若さと行動力」をお汲み取り頂きまして、今後ともご支援・ご指導のほど、宜しくお願い申し上げます。

4年間の歩みとこれからの取組み
●農業振興
●稲敷東IC周辺開発
●ひとり親・高齢者支援
●外国語教育支援

農業　教育　福祉

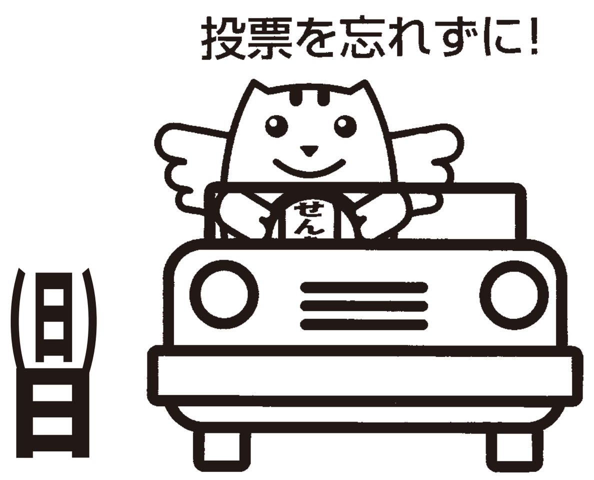
安心できるまちに！

プロフィール
昭和50年（1975年）6月14日生まれ
［学歴］
昭和63年 東村立西小学校卒業
平成 3年 東村立東中学校卒業
平成 6年 千葉県立成田北高等学校卒業
平成10年 東京農業大学農学部農業経済学科卒業
［職歴］
平成10年 ㈱成田日航ホテル入社
平成21年 なかざわ農場代表（レンコン・お米）
平成26年 稲敷市議会議員選挙初挑戦初当選
平成30年 稲敷市議会議員選挙再選［第2期目］
［現職］
●稲敷市議会議員
●稲敷市農地利用最適化推進員［第2期目］
●稲敷市消防団本部［第4方面隊副方面隊長］

投票所番号	投票所名	場所
1	江戸崎第1投票区	稲敷市役所
2	江戸崎第2投票区	江戸崎中央公民館
3	君賀投票区	君賀コミュニティセンター
4	沼里投票区	沼里コミュニティセンター
5	鳩崎投票区	鳩崎コミュニティセンター
6	高田投票区	高田コミュニティセンター
7	根本投票区	根本共同利用施設
8	柴崎投票区	新利根小学校
9	九軒投票区	九軒共同利用施設
10	伊佐津投票区	新利根公民館
11	太田投票区	いこいのプラザ
12	浮島投票区	浮島中央集落センター
13	古渡投票区	桜川こども園
14	神宮寺投票区	神宮寺集落センター
15	須賀津投票区	桜川公民館
16	佐原組新田投票区	あずま生涯学習センター
17	結佐投票区	稲敷市東支所
18	西代投票区	西代農村集落センター
19	伊佐部投票区	あずま北小学校
20	幸田投票区	幸田農村集落センター
21	福田投票区	あずま西小学校

稲敷市の未来を託すこの一票

稲敷市議会議員一般選挙



投票日
11月20日（日）

投票時間は午前7時から午後7時までです

投票日 11月20日（日）午前7時から午後7時まで

投票日の当日、仕事や用事などで投票所へ行けない方は、期日前投票ができます。

期日前投票　11月14日（月）から19日（土）まで
午前8時30分から午後8時まで

期日前投票場所　稲敷市役所本庁舎、新利根公民館、桜川公民館、東支所

※この選挙公報は立候補者から提出された原稿をそのまま写真にとり、縮小して印刷したものです。

令和４年11月20日執行

稲敷市議会議員一般選挙公報

稲敷市選挙管理委員会

輝く稲敷！活力ある稲敷をみんなで創りましょう！責任世代の代表者として将来世代へ!!

『負担を取り除き、子や孫へ明るい稲敷を引き継ぐために!』

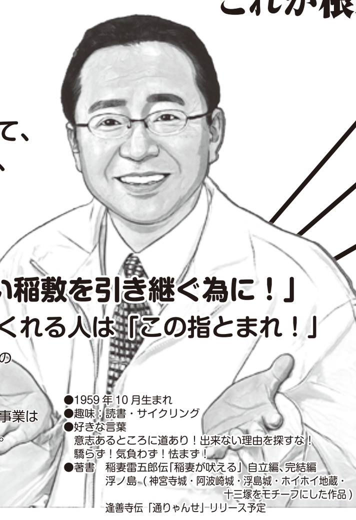
これが根本ひろしの政治信条です!!

希望の持てる政治・
希望の持てる政策を
行い形にしたい。
皆さんと一緒になって、
泣いて笑って喜べる、
血の通った政治を
目指したい。

「負担を取り除き、子や孫へ明るい稲敷を引き継ぐ為に！」

共にこの旗を振ってくれる人は「この指とまれ！」

インターチェンジ・パーキング周辺の商業的エリアへの開発は稲敷市の独自財源確保にも繋がります。
郷土愛を育む為には、稲敷歴史街道事業は手掛けねばならない事業の一つです。
子を産み育てる世代への支援強化をより一層提唱しなければ，稲敷市の人口減少は止まりません。



- ●1959年10月生まれ
- ●趣味：読書・サイクリング
- ●好きな言葉
  意志あるところに道あり！出来ない理由を探すな！
  驕らず！気負わず！怯まず！
- ●著書　稲妻雷五郎伝「稲妻が吠える」自立編、完結編
  浮ノ島（神宮寺城・阿波崎城・浮島城・ホイホイ地蔵・十三塚をモチーフにした作品）
  逢善寺伝「通りゃんせ」リリース予定

政策の６本柱

1. インターチェンジ・パーキング周辺の商業的エリアへの開発
2. 農業分野への支援
3. 子を産み育てる世代への支援強化
4. 郷土愛を育む教育
5. お年寄りや障害を持つ方に優しい社会環境の整備
6. 稲敷市の独自財源確保に知恵を出します

根本ひろし

輝く稲敷を次世代へ！

過疎対策と持続可能な地域づくりを進めます！

1. **「子育てするなら稲敷市」子育てが楽しくなるまちづくり**
   - ・学校給食、教材、予防接種の無料化推進。
   - ・地元の産業や暮らしを知る教育の充実。
   - ・地域行事への子どもの参加を促進。
2. **必要な人にサービスが確実に届くまちづくり**
   - ・介護、保育、医療等に携わる人材の確保。
   - ・交通弱者への支援や市内交通網の整備推進。
   - ・市民生活の支援について窓口の一本化。
3. **「人口減」を少しでも抑えるまちづくり**
   - ・空き家・空き地の売買や賃借を支援。
   - ・室内遊び場や交流施設の整備計画。
   - ・医療環境の周辺自治体との連携構築。
4. **活力と豊かさを維持拡大できるまちづくり**
   - ・着地型観光を確立し集客に努めます。
   - ・高齢者や育児中の女性の働きやすい環境整備。
   - ・地場産業の後継者育成と起業家支援。
5. **農業・地場産業の支援強化**
   - ・補助金獲得等の経済的支援と高度技術の導入促進。
   - ・農業後継者育成のための支援・研修制度の構築。
   - ・農産物の首都圏や海外への販売ルート開拓。
6. **災害に備えた防災対策の強化**
   - ・防災教室や避難訓練の定期的な実施。
   - ・防災グッズの購入資金補助制度を検討。
   - ・避難経路や避難所を示したカレンダーやアプリの配布。

●昭和４４年２月生まれ／東村立北小・西中・県立竜ヶ崎南高・流経大経済学部卒業●有限会社黒田商店代表取締役
●稲敷米ブランド化推進協議会会長●茨城県農産物検査員●稲敷市消防団副団長●茨城ゴールデンゴールズ後援会副会長
●平成２６年稲敷市議会議員に初当選／平成３０年２回目の当選　産業建設常任委員会委員長

黒田しげかつ　53歳

山本しょうじのあゆみ	
1981年	江戸崎中学校卒業
1984年	土浦第一高校卒業
1990年	茨城大学人文学部社会科学科卒業
同年	㈱チューリップテレビ入社報道や東京支社を経て
2003年	同社を退社
同年	江戸崎町議会選挙に立候補し初当選
2005年	合併により、稲敷市議
2006年	市議会選挙で惜敗
2010年	市議会議員に2期目当選
2018年	3期目の当選を果たす
現在	姉妹都市交流委理事
	塾主任講師
	社会福祉法人理事
	雁の郷友の会副会長
家族	妻　長女　長男

誠実

誠実に、市民のために
あなたの声が、原動力

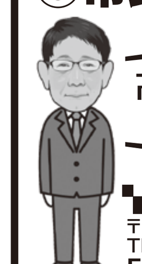
無所属

山本しょうじ（57歳）

稲敷の誇り、正論で挑む！

豊かな行政経験（前副市長）を活かした着実なまちづくり、３つの提案です！

1. ①夢のある稲敷づくり!
2. ②安心して暮らせる地域づくり!!
3. ③市民に寄り添い、力強い稲敷づくりの推進!!!



髙山ひさお プロフィール

★昭和36年1月8日生まれ　★昭和54年　土浦日本大学付属高等学校卒業
★昭和58年　日本大学卒業　★昭和58年　旧江戸崎町役場入庁
★平成 6年　特別事業対策課係長として「工業団地整備」、「圏央道整備推進」を担当
★平成17年　企画課課長補佐として「稲敷市第１次総合計画」を担当
★平成22年　秘書広聴課　課長　★平成26年　市長公室　室長
★平成30年　副市長　拝命

髙山ひさお選挙事務所　★ご意見をお聞かせください＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
〒300-0508　茨城県稲敷市佐倉705-2
TEL 029-828-5536　FAX 029-840-5521
E-mail：hisao@hisao-takayama.com
髙山ひさおホームページ
https://hisao-takayama.com

髙山（たかやま）ひさお（61歳）

女性のチカラで稲敷を元気に！

母親の心
女性の目線で
皆様のくらしを守る!!
市政を守る!!

1、命を守る！
「乳ガングローブ」の導入
「救急電話相談」の導入
24時間３５６日対応
子ども＃8000
おとな＃7119

2、くらしを支える！
くらし応援商品券（地方創生臨時交付金）
小学校入学応援・中学入卒応援商品券の導入

3、高齢者と障がい者にやさしい！
マスクをつけられない事を知らせる「わけがありますくカード」の導入
万が一の緊急時に「救急医療情報キット」の導入

- ●生年月日：昭和36年8月19日
- ●生活信条：「感謝・笑顔」
- ●趣　　味：音楽鑑賞
- ●好きな食べ物：うどん
- ●家族：夫・長女・次女
- ●市議会議員3期
- ●公明党茨城県本部女性局次長

公明党公認

松戸ちあき

地域に笑顔を市政に新風を！

やればできる！５つのチャレンジ

地域の活性化	子育て・教育	人材育成	産業振興	安心・安全
◆コミュニティづくりにレクリエーション活動を導入 ◆シルバーリハビリ体操の普及促進 ◆イベント開催（神崎大橋側道橋で県境を挟んで綱引き大会）	◆給食費の無償化 ◆ヤングケアラーの支援 ◆環境教育の推進 ◆インクルーシブ教育の推進 ◆主権者教育の推進	◆スポーツを通した青少年の健全育成 ◆次代を担う地域リーダーの養成 ◆クオータ制導入に向けての検討	◆スマート農業支援 ◆圏央道を活用した販路拡大 ◆農業を守り未来の担い手の育成 ◆農家個別所得補償	◆障害者や高齢者への支援の充実 ◆災害に強いまちづくり ◆空き家対策 ◆航空騒音対策 ◆個人でできるSDGSの推進

政治は暮らし、議員も庶民！　共に築こう地域の未来を！

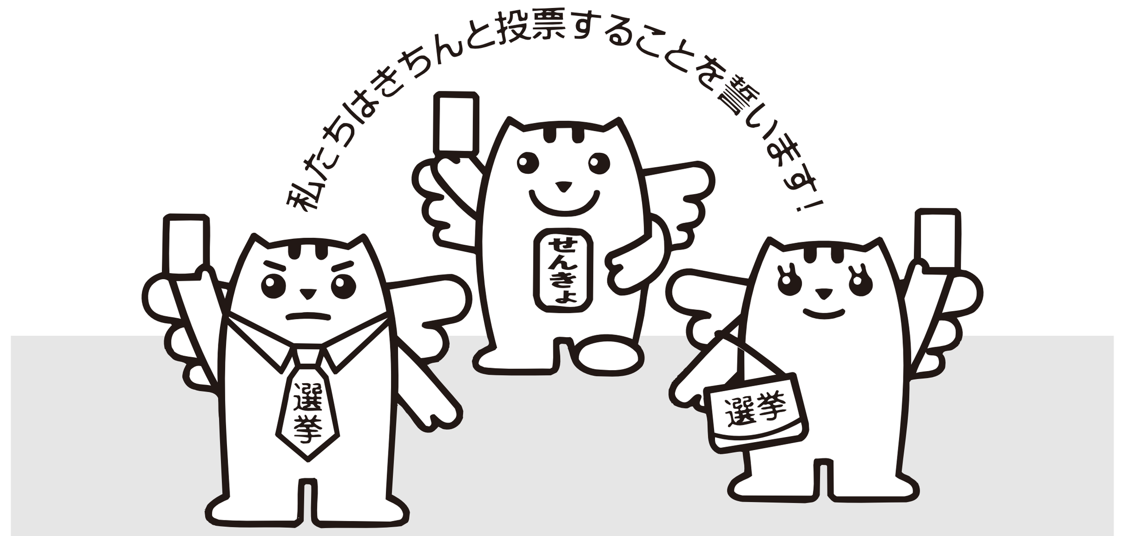
若者よ、投票に行こう！「投票しても何も変わらない」というが「投票しなければ絶対に何も変わらない」

<プロフィール>

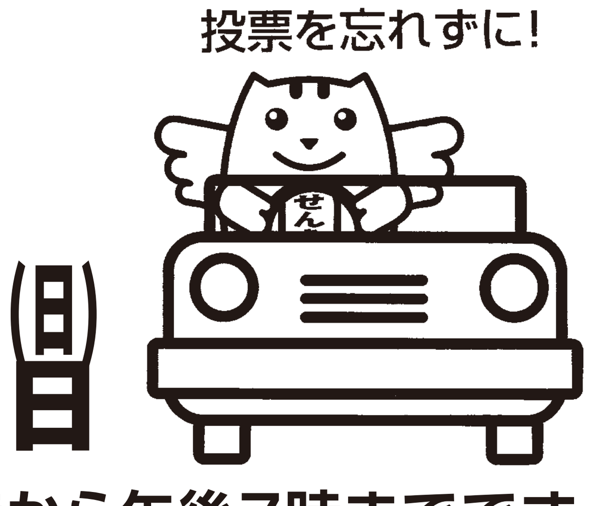
昭和５３年	茨城県立土浦第三高等学校普通科卒業（硬式野球部所属）
昭和５３年	日本国有鉄道入社
昭和６１年	茨城県青年の船に参加（中国往訪）
昭和６２年	茨城県青年の翼に参加（ソ連・仏・伊歴訪）
昭和６３年	千葉県職員（県立学校事務職員）採用
平成　２年	東村社会人野球連盟会長
平成　８年	東町消防団第１５分団長
平成１４年	東町体育協会理事長
令和　２年	千葉県職員（香取特別支援学校事務長）退職
令和　２年	稲敷市区長会連合会長
◆家　　族	妻・子２人
◆趣　　味	ハイキング・読書・ゴルフ・人を笑顔にすること
◆座右の銘	為せば成る
◆資　　格	レクリエーションインストラクター シルバーリハビリ体操３級指導士

鈴木まさし

稲敷市の未来を託すこの一票　稲敷市議会議員一般選挙



投票を忘れずに!



投票日　11月20日（日）

投票時間は午前7時から午後7時までです

※この選挙公報は立候補者から提出された原稿をそのまま写真にとり、縮小して印刷したものです。

令和４年11月20日執行

稲敷市議会議員一般選挙公報

稲敷市選挙管理委員会

女性・母親の視点で政策を

安心安全・命を守ることを最優先に夢と愛あふれる街づくりを目指します。

私、寺﨑久美子は稲敷市で生まれ、育ち、学び、就職をし、結婚、子育てをしてまいりました。その間に稲敷市は大きく変わり進んできましたが、圏央道が開通し、今新しい時代に向けて新たな変化が必要な時を迎えていると感じます。

稲敷市は人口減少に直面しております。「稲敷市から離れていくのはなぜなのだろうか」「若者がふるさととして愛し、家族をもうけ住み続けたいと思える街はどんな街なのだろうか」稲敷の魅力とコミュニティを最大限に生かし、女性・母親の視点で夢と愛あふれる街づくりを目指します。

市民の声に耳を傾け、その知恵やアイデアをもとに循環型まちづくりに取り組みます。

皆様の温かいご支持ご支援をよろしくお願い申し上げます。

プロフィール
- ・昭和38年7月4日(59才)椎塚生まれ（旧姓中澤）
- ・髙田小学校、江戸崎中学校卒
- ・茨城県立江戸崎西高等学校卒
- ・産業能率短期大学卒
- ・元 あずま北小学校ＰＴＡ会長
- ・元 北小学校、東中学校 学校評議員
- ・現 稲敷市青少年相談員
- ・現 江戸崎ライオンズクラブ所属
- ・子供、二男一女
- ・好きな言葉　向上心

子どもから高齢者、男女ともに暮らしやすい街づくりを目指します!

寺﨑久美子は大好きな稲敷市の為に皆様の声を大切に届けます。

寺﨑久美子（てらさきくみこ）

困っている人にやさしいまちづくり!!

――ふるさと稲敷を「笑顔で暮らせるまち」に!――

① 笑顔の生活を守る高齢者福祉

稲敷市独自の充実した高齢者向けのサービスと福祉政策を確立します。

- ●行政・事業所・社福等との連携を強化し、老々介護や独居対策の向上に努めます。
- ●タクシーチケット等交通弱者の救済策の充実を推進します。
- ●地域包括ケアシステムを推進し、介護等の事業所誘致と関連従事者の移住を促します。
- ●成年後見人の育成のための研修やNPOの設立を推進します。

② 少子化対策と子どもたちへの支援

未就学児、幼児教育環境を充実させ、教育費の負担軽減を確立します。

- ●第一子からの子育て支援策を策定します。
- ●5年4月以降の給食費の無料化、子育て世帯に優しいまちを目指します。
- ●ひとり親家庭や心身に障がいを持つ子どもたちへの支援策を構築します。
- ●学校ごとの教育ビジョンの確立を促し、市民と児童・生徒の交流事業を企画します。

③ 稲敷のブランド力アップと商工政策

基幹産業である農業や零細事業を支援し、地場産業の共存共栄を確立します。

- ●公共事業の誘致を進め、商工会等との連携で市内経済の活性を促します。
- ●圏央道沿線としての機能を充実し、隣接自治体と連携で経済活性に努めます。
- ●ゴルフ場のまちをさらに広報し、スポーツに関連した集客の企画を進めます。
- ●農産物のブランド力アップのため、広報と販路の拡大に努めます。

沼崎孝雄（ぬまざきたかお）プロフィール
- ・昭和44年3月10日 新利根村下根本生まれ
- ・新利根村立根本小中学校卒業
- ・常総学院高等学校卒業
- ・土浦産業技術専門学校卒業
- ・専門学校卒業後サラリーマンを経て平成10年にヌマザキオートを設立
- ・現在茨城県中古自動車販売商工組合理事
- ・消防団員（平成5年から14年まで9年間）
- ・竜ヶ崎青年会議所に所属（平成16年から19年まで）

ぬまざき孝雄　53歳

故きを温めて新しきを知る

未来を担う子どもたち、稲敷を支えてきてくれた諸先輩方を守る為、政治的に動かなければならない、と決意を致しました！

プロフィール
稲敷市生まれ・育ち。ヨガで企業や福祉施設の健康促進を支援する会社を設立。現在は、一児の母。

子主体の教育
- ●子どもたちの無限の可能性を伸ばし、**生きる力**が身につく教育、**個性を認める学校づくり**の提案

福祉・医療
- ●**薬の副作用**を市民にわかりやすく伝える方針の強化
- ●**在宅介護**／**看護**の支援充実

安全な食の流通
- ●**食料自給率**アップ
- ●**安全性**の高い農業／畜産支援

子育て、老年期に安心出来る街！

新しい稲敷！

無所属 新人

むとうちえみ

のぶゆきの足・手・目・声・耳

- 未来を見据え小さなことも見逃さない目
- 一人の声を聞き漏らさない確かな耳
- 稲敷の大地を愛する農家で鍛えた手
- 市民の声を市政に伝える私達の声
- どこまでも市民の声を聞き歩く足

一人の声を大切に　みんなの声を届けます！

KOMEITO 公明党

あさの信行（のぶゆき）

人をつくり、まちをつくり、未来を創ります！

誠実に、市民目線で、市民とともに活動します。人づくりは教育から！

しのだ純一の推進する施策

活力と魅力あるまちづくり
- ●働く場があり、次世代が活躍できる環境の整備を支援します。
- ●公共交通の利便性が高まるよう働きかけます。

スポーツ・文化の振興
- ●スポーツのまち稲敷の環境整備を推進し、施設と競技力の充実を支えます。
- ●生きがいとしてのスポーツ、障がい者スポーツを拡充します。
- ●文化・芸術など市民の手による文化活動を支援します。

教育環境の整備
- ●稲敷が大好きな子どもを育てます。
- ●小中学校の学習環境整備と教員の働き方改革及び、子どもの自立と地域貢献しようとする心の基礎づくりを推進します。
- ●公民館活動を中心とした人材育成の環境整備を推進します。

未来が輝くまちづくり　安心安全なまちづくり
- ●防災防犯の充実を図り、安心して子を産み育てられる環境と、健康で長生きできる医療介護の充実を図ります。
- ●買い物や通院など毎日の生活の不便解消に努めます。
- ●持続可能なまちづくり、多様な考え方を認め合える社会づくりを推進します。

稲敷のよさを発信　地域のよさを広くPR
- ●地域資源を再構築するとともに、シティセールスのセールスパーソンとして稲敷の素晴らしさ、住みよさ、名産品を発信します。

■しのだ純一プロフィール
1971年8月稲敷市（旧桜川村）生まれ
日本医療秘書専門学校卒業
日本情報処理短期大学校卒業

■経歴／おもな役職歴
2010年12月稲敷市議会議員選挙無所属で初当選
2014年12月稲敷市議会議員 2期目
産業建設常任委員会委員長
議会だより編集員会委員長
総務教育常任委員会委員長
2018年12月稲敷市議会議員 3期目
議会運営委員会委員長
議会改革調査特別委員会委員長
第十代稲敷市議会議長

しのだ純一（じゅんいち）

住んでるまちから
住みたいまちへ
元気ある
稲敷市づくりを
めざします。

中村三郎（なかむらさぶろう）

投票日 11月20日（日）午前7時から午後7時まで

投票日の当日、仕事や用事などで投票所へ行けない方は、期日前投票ができます。

期日前投票　11月14日（月）から19日（土）まで
午前8時30分から午後8時まで

期日前投票場所　稲敷市役所本庁舎、新利根公民館、桜川公民館、東支所

※この選挙公報は立候補者から提出された原稿をそのまま写真にとり、縮小して印刷したものです。